

HIDE'S NEWS

守谷市議会議員 わたなべ秀一

HIDEKAZU WATANABE

2019年
4月号



PROFILE

わたなべ 秀一

HIDEKAZU WATANABE

有限会社渡辺商店代表取締役
生年月日:昭和47年1月8日

守谷町立黒内小学校 卒業
守谷町立守谷中学校 卒業
茨城県立守谷高等学校 卒業
千葉商科大学経営学科 卒業
明治大学公共政策大学院 修了

守谷市商工会青年部 部長 (H21~22)
がぶりメンチの考案&プロデュース
(社)常総青年会議所 理事長 (H23)
※現在の(一社)茨城県南青年会議所

守谷市議会議員 初当選 (H24)
守谷市議会議員 2期当選 (H28)
都市経済常任委員会 副委員長 (H30)
議会運営委員会 委員 (H30)
常総広域市町村圏事務組合組合議員 (H30)

はじめよう 未来のカたちづくり

〒302-0109 守谷市本町260
TEL.090-3234-2809
FAX.0297-48-1487
nabesta1211@yahoo.co.jp

Q わたなべ秀一 検索

※Facebookでも情報を発信しています

HIDE'S NEWS 公民連携の最前線を知る

2月上旬、大阪市天王寺公園、大東まちづくり会社(株)を視察しました。

行政主導ではなく民間と連携しながら公共サービスを提供していくことで、魅力ある地域づくりを進める、そのような民間活力を用いる手法が自治体でも徐々に導入されています。



HIDE'S EYE

民間のノウハウや活力を導入し、地域のまちづくりを進める事業は守谷市でも実施の方向で動いています。守谷駅東口の1.2haの市有地やみずき野エクスセル跡地などが代表的なものであり、今後の動向が注視されます。わたなべ秀一は、守谷駅西口広場なども、民間のまちづくり会社を設立し運営から管理まで任せてみてはどうか?と考えます。

近年、守谷駅西口広場では、様々なイベントが開催されるようになりました。さらに魅力ある利活用を展開するには、縦割りの行政が管理するのではなく、民間主導で運営した方が、広がりがあると思うからです。以上の意見は積極的に行政に提言していきます。

今年度を振り返って

今年度を振り返ると、松丸市長の行政運営から行政経営へと攻めの意気込みを感じる一年であったと感じられます。

まちづくり協議会の設立、公共交通網の再編、ふるさと納税の拡大、民間企業との包括連携協定と積極的に活動し、当初は市長のスピード感に行政職員が翻弄されていると思われましたが、やっと距離感が噛み合ってきたと感じます。新年度は、これらの事業の真価を発揮する年だと考えます。わたなべ秀一も守谷市議会のいち議員として、これからも責任ある判断をしていく所存です。



守谷市八坂神社にて、今年も豆まきをしました。

渡辺姓に豆まきは要らないそうですが...

HIDE'S NEWS

モコバス再編と
デマンド交通の運行開始

4月からモコバスの運行ルートが見直され、これまでの3ルートから2ルートに変更されます。

具体的な2ルートは、まず、守谷駅西口からイオンタウン守谷を通り、市役所、大野地区、西板戸井地区を回る『市役所・板戸井ルート』。そして、みずぎ野から本町旧道を通り、守谷駅、みずぎ野地区を経由して松並青葉地区を回る『みずぎ野・松並青葉ルート』になります。

また、新しい公共交通の補完機能として予約型のデマンド乗り合い交通(タクシー)が運行されます。



内の小中学校の校舎や体育館の改修工事も予測されます。また、学校給食センターについては児童生徒の増加に伴い現状の施設では安全面から対応に不安があることから建て替えを計画している状況です。

一方、昨年頃から市民ホール建設の署名活動が市内でなされているようでした。確かに、守谷市は400人以上を収容できる大ホールや文化的な発信をする施設が乏しく感じられます。もしかすると、市民ホール建設は、今年の守谷の焦点になるかもしれません。

わたなべ秀一は箱モノは決して悪だとは思いません。重要なのは、市民にとって本当に必要なのか、と使われ方の仕組みづくり、ではないかと考えます。また当然ながら、今後の市の財政的な負担も考慮しなければなりません。

HIDE'S EYE

モコバスに関しては、5年前の議会事業仕分けで、予算を9千万以内を抑える『守谷市議会重点事業仕分けに関する決議』を当時の会田市長に提出した経緯があります。

今回の予算は、モコバスとデマンド合わせても約6千万と、かなりのコスト意識をもった改革がなされたと感じます。

これまで議会や所属会派にて先遣地視察を何度も行ってきましたが、これを真似れば守谷も間違いなく成功できる、というものはありませんでした。そのようなかで守谷市は今回の非常に難しいモコバス再編と新たな交通機能を実行したと思います。

今後は、運行と平行して実証実験データーを収集しながら、市民にとってより利用しやすい、公共交通網を形成していく姿勢です。

昨年、小美玉市の『四季文化館みくれ』を視察しました。運営が非常にしっかりとっていて、やはり、『ひとつくり』が大切だと実感しました。人と人が関わるプロセスで仕組みが作り上げられ、それが結果的に市民の文化的な満足に繋がっていくのではないのでしょうか？

市民ホール建設の件は、まだ議会には出てきてない案件ではありますが、守谷市の将来を考えさせられます。



HIDE'S NEWS

中央公民館改修工事と、
今後の建物大規模改修

築35年を経過した中央公民館の改修工事の全容が見えてきました。当初の概算予算は10億7千万でしたが、最終的には予定価格総額8億5千5百万の入札予定になります。

HIDE'S EYE

中央公民館改修工事は、当初から議会でも様々な意見が飛び交い、会派ごとに意見を集約させ、会派代表者会議を数回と重ねた経緯があります。当初から改修ではなく建て替えとの意見もありながらも、最終的には改修工事で大ホールに音響反射板を取り付ける予算で議会可決されました。守谷市内の普通建物の多くは教育課所管内に集中されており、今後、市

HIDE'S NEWS

新滝下橋建設促進議員連盟、新たに設立

1月24日、守谷市議会と常総市議会による新滝下橋建設促進議員連盟が設立されました。

この連盟の主な活動として、新滝下橋および接続道路の早期建設整備や現滝下橋周辺の渋滞緩和に関する要望を茨城県に図っていく予定です。

守谷市側では、利根川から鬼怒川方面に走る広域幹線道路の『都市計画道路供平板戸井線(90900E)』と現滝下橋より上流にかかる『新滝下橋』が建設予定となります。しかし、全体の完成時期についてはまだ未定という状態であり、今回の議員連盟の結成を機に少しでも前進させたいと考えております。